

# 和 文 索 引

## あ

アイシング 12, 35  
——システム 22  
アイスバス 22  
アイスパック 14  
アイスマッサージ 22  
あえぎ呼吸 72  
アキレス腱断裂 21, 37, 56  
アスレティックテープ 59  
アスレティックトレーナー 2,  
4, 32, 133  
圧迫 14, 35  
アナフィラキシー・ショック  
46, 108  
アナフィラキシー反応 44  
アルギン酸塩製材 29  
アルミスプリント 52  
アンクルブレイス 58  
安静 6, 13, 35, 51, 102

## い

意識混濁 39  
意識障害 111  
——の分類と評価の指標 83  
意識消失 87  
意識 (の) 確認 72, 92  
異常高体温 102  
1次救命処置 4, 67, 79  
1次止血 27  
1次的外傷性損傷 12  
I度熱傷 38  
一過性四肢麻痺 90  
一酸化炭素 (CO) 50  
——中毒 49  
5つのP 108  
一方弁付きシールド 127  
居眠り 95  
異物 42, 48  
——感 43  
イモビライザー 57  
イラクサ 44  
陰圧式固定具 57, 130

## う

ウイルス性心筋炎 111  
ウォームアップ 35  
埋め込み型除細動器 76  
埋め込み型ペースメーカー 76

ウルシ 44  
ウルシオール 44  
運動および知覚テスト 94  
運動機能テスト 11  
運動誘発アナフィラキシー  
108  
運動誘発喘息 108, 114  
運搬計画 60  
運搬法 60  
運搬ルート 60

## え

エアスプリント 58  
エピペン 46  
遠位指節間関節 (DIP) 56  
炎症 12

## お

応急手当 4  
横紋筋融解 102  
オーバーミトン 42  
オーバーワーク 37  
悪寒 111  
オキシドール 33  
温湿布 16  
温熱療法 37

## か

蚊 46  
開口器 127  
外傷 12  
介達外力 12  
回転性めまい 112  
回復体位 5, 73, 77  
開放性損傷 24  
開放創 52  
下顎挙上法 73  
過換気症候群 106  
——の臨床症状 106  
過換気状態 106  
過緊張 36  
角膜 42  
かぜ 111  
肩関節脱臼 53  
片麻痺 97  
割創 24  
かぶれ 44  
カリフラワーマイヤー 21  
カルボキシヘモグロビン

(COHb) 50  
肝炎 31  
眼窩 42  
感覚障害 16  
感覚麻痺 16  
眼窩底骨折 42  
眼球打撲 42  
観察 5, 11  
巻軸帯 53  
冠状動脈 113  
間接圧迫 (止血) 法 26, 47  
関節可動域 37  
感染 31  
——性ショック 108  
——対策 7  
——防止 31  
————対策 33  
——予防用人工呼吸用器具  
74  
簡単な脳震盪テスト 94  
眼部打撲 42  
寒冷環境 41  
寒冷蕁麻疹 18

## き

器械体操 140  
気胸 114  
起座位 113  
起座呼吸 110  
傷 24  
——口 24  
気道異物除去 4, 67, 80  
気道内異物 78  
気道の確保 73  
気道閉塞 109  
機能障害 12  
機能評価 142  
救急医療体制 117  
救急処置用器材 127  
救急処置用品 137  
救急体制の準備 132  
救急チーム作り 132  
救急法 8  
救急用器材・用品の準備 133  
救急用具 2  
救護室 119  
救護体制作り 140  
急性高山病 115  
急性紅斑反応 39  
急性硬膜外血腫 83  
急性硬膜下血腫 83

急性腎不全 102  
急性中心性頸髄損傷 90  
9の法則 38  
キューブアイス 14  
救命・救急処置 117  
救命の連鎖 4, 67, 78  
仰臥位 5  
胸骨圧迫 67, 73, 75  
——用器具 128  
橋静脈 83  
狭心症 113  
狭心痛 113  
胸痛 113  
協力依頼 7  
協力者要請 72  
虚血性心疾患 113  
拳上 14, 35  
虚脱 108  
切り傷 24, 47  
起立性低血圧 112  
記録 7  
緊急事態 10  
緊急性 10  
緊急対応計画 9  
筋けいれん 35  
筋挫傷 37  
筋性防御 115  
筋肉間損傷 36  
筋肉内損傷 36  
筋肉の柔軟性 37  
筋肉のストレッチ 35  
筋肉の断裂 37  
筋力強化 37  
筋力増加のバランス 37  
筋力不足 37  
近隣医療機関 118

## ◀

駆血帯 26  
口対口人工呼吸 74  
口対口鼻人工呼吸法 80  
クモ膜下出血 112  
クライオカフ 22  
グラスゴー昏睡指標 85  
クラッシュアイス 14  
クラドルキャリアー 60  
グランド上評価 10  
クロスチェストキャリアー 63  
グローブ 33

## ▶

頸静脈 109  
頸髄損傷 86  
——における重症度分類 91  
頸椎骨折 90

頸椎脱臼 90  
頸椎捻挫 91  
頸椎のアライメント 53  
経皮的消炎鎮痛薬 37  
頸部外傷 90  
頸部固定具 57  
頸部の重症捻挫 95  
血圧計 129  
血液毒 45  
血液粘性 105  
血管拡張期 16  
血管収縮期 16  
血管新生 27  
血行障害 16  
結膜 42  
——充血 43  
血流停止 68  
ケミカルパック 16  
嫌気性菌 45  
現場協力者 123

## ◻

高温 101  
高気圧酸素療法 50  
抗酸化物質 39  
高山病 115  
咬傷 25, 45  
抗生物質 45  
咬創 25  
高体温 111  
高地脳浮腫 115  
高地肺水腫 115  
行動 60  
高度脱水 114  
高度貧血 114  
高熱 45  
後方支援病院 123  
硬膜下血腫 112  
ゴーグル 33, 43  
コールドスプレー 17  
コールドパック 16  
呼吸原性 79  
呼吸困難 113  
——感 106  
——の原因 114  
呼吸性アルカローシス 106  
呼吸不全 108  
骨化性筋炎 55  
固定器具・用具 130  
固定資器材 51  
固定処置 51  
こむら返り 35  
昏睡体位 86  
コンタクトスポーツ 92  
コンタクトレンズ 43  
——障害 43

## ◻

最小紅斑線量 (MED) 40  
鎖骨骨折 55  
鎖骨固定バンド 55  
刺し傷 25, 48  
挫傷 24  
挫創 24  
擦過傷 24  
擦過創 24  
三角巾 52, 53  
酸化ヘモグロビン (O<sub>2</sub>Hb) 50  
サングラス 43  
3-3-9 度方式 85  
サンスクリーン剤 40  
酸素分圧 130  
サントン 39  
Ⅲ度熱傷 38  
サンバーン 39

## ◻

シーネ 55  
ジェル製保護材 29  
紫外線 39  
止血 46  
——処置 25  
——帯 26  
——法 26  
——点 26, 47  
——法 4, 25  
四肢麻痺 90  
死戦期呼吸 72  
刺創 25  
失神 103, 112  
——性めまい 112  
湿布薬 16  
失明 42  
自動体外式除細動器 (AED) 4, 67, 75, 118, 128, 137  
シバリング 104  
シミュレーション 120, 142  
——・トレーニング 67, 136  
射創 25  
重症熱傷 37  
銃創 25  
10の法則 38  
受傷機転 10  
主訴 10  
腫脹 12  
出血 108  
——の種類 25  
——量 109  
循環血液量減少 109  
上位頸椎 91

傷害記録 142  
障害の評価 9  
消化性潰瘍 108  
上気道炎 111  
状況確認 60  
状況把握 10  
消毒 27, 46  
——剤 29  
小児用パッド 76  
蒸発 104  
傷病者 5  
情報収集 10  
消防署 121  
静脈性出血 25  
触察 11  
食物依存性運動誘発アナフィラ  
キシー 108  
除細動 4, 67, 70  
ショック 108  
——症状 51  
視力障害 42  
心外閉塞・拘束 108  
伸筋腱断裂 56  
心筋梗塞 113  
神経系テスト 94  
神経原性ショック 108  
神経根損傷 91  
神経毒 45  
心原性 79  
人工呼吸 67, 73  
——用器具 127  
心室細動 (VF) 68  
心室頻拍 69  
浸潤性出血 25  
心静止 68  
心臓ポンプ 108  
心臓性失神 113  
人体組織凍結点 40  
心停止 69  
進入路 142  
心肺蘇生 4, 67  
——法 67, 81  
——法 (CPR) 器具 127  
深部体温 102, 104  
深部凍傷 41

## す

水硬性ファイバーグラススプリ  
ント 130  
水疱 16, 29, 41  
髄膜刺激症状 112  
頭蓋骨 83  
——骨折 83  
頭蓋内血腫 83  
スキнтаイプ 39  
スクープストレッチャー 129

スズメバチ 46  
スタジアム救護ステーション  
135  
スタジアム救護班 135  
頭痛 111  
ストレッチャー 54  
ストレッチング 37  
スパインボード 93  
スプリント 52, 56, 130  
——器材 53  
スポーツ現場 8  
スポーツ指導者制度 8  
スポーツメディシンチーム  
52  
スライリーストリップ処置  
47  
擦り傷 24, 47  
スリーステーション制 134

## せ

生命徴候 5  
西洋サクラソウ 44  
生理食塩水 103  
セカンド・インパクト症候群  
90  
脊柱管理器具 128  
脊椎外傷 90  
責任者 119  
舌圧子 52, 127  
舌鉗子 127  
舌根沈下 127  
切創 24  
切断指 48  
セットポイント 111  
線維芽細胞 27  
選手, コーチ, マネージャーの  
教育 133  
専門病院 121  
戦慄 111  
前腕骨折 56

## そ

創 24  
——口 24  
——傷 24  
爪床圧迫テスト 109  
創傷の処置 27  
蒼白 108  
創面 24  
側臥位 5  
足関節外側靭帯損傷 18  
足関節内反捻挫 18  
組織の損傷 12  
ソフトシーネ 130

## た

体位 5, 103, 115  
第1次評価 10  
第1発見者 68  
体位変換 6  
対応計画 118  
体温管理器具 130  
体温調節中枢 111  
体温と低体温の症状 104  
大出血 25  
大腿直筋 36  
大腿内転筋 36  
大腿部打撲 55  
大動脈解離 113  
ダイナボード (CPR ボード)  
128  
第2次評価 10  
対流 104  
多湿 101  
多臓器不全 108  
立ちくらみ 112  
脱水 101, 108  
ダニ 46  
打撲傷 24  
担架 62  
弾性包帯 14, 53

## ち

チアノーゼ 108  
チームドクター 122  
力づけ 5  
直達外力 12  
致死的不整脈 70  
窒息のサイン 78  
遅発性神経精神症候群 50  
中下位頸椎 91  
中枢神経症状 112  
中枢性めまい 112  
聴取 10  
直接圧迫 (止血) 法 26, 47  
直接・間接圧迫併用法 26

## つ

通報 7, 102  
——手順 121  
突き指 22, 56  
ツタウルシ 44  
槌指 56  
ツツガムシ 46

## て

低体温 104

—症 41  
提肘固定 52  
テープ縫合 31  
溺水 81  
テクニカル・ゾーン 138  
テタニー 106  
デブリードマン 24  
電気ショック 68, 76  
電氣的除細動 70  
電氣的ペースメーカ 69  
電極パッド 75  
電撃傷 48  
伝導 104  
電紋 48

## と

トゥーパーソンアシスト 61  
トゥーハンデッドシートキャ  
リー 61  
凍結融解 41  
凍傷 16, 40, 105  
疼痛 12  
頭皮挫創 83  
頭部外傷 83  
—10か条の提言 90  
頭部後屈顎先挙上 73  
動脈血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>)  
130  
動脈性出血 25  
動揺性めまい 112  
特殊検査 11  
ドクター 132  
トリアージ 5  
ドレッシング材 28  
トレーナーステーション 119,  
135  
トレーニング 37

## こ

肉芽形成期 27  
肉芽組織 27  
肉ばなれ 20, 36  
二酸化炭素濃度 106  
2次救命処置 (ACLS) 4, 68,  
78  
2次災害 71  
2次止血 27  
2次的外傷性損傷 12  
2次的低酸素症 12  
日光防御因子 40  
日射 101  
II度熱傷 38  
日本昏睡指標 85

## ぬ

スルデ 44

## ね

ネジ型 (開口器) 127  
熱感 12  
ネックカラー 129  
熱けいれん 101  
熱産生 104  
熱失神 101  
熱射病 102  
熱傷 37  
—面積 38  
熱中症 39, 101  
—の発生要因 101  
熱疲労 101  
熱放散 104

## の

脳 83  
—梗塞 112  
—挫傷 83  
—出血 112  
—腫瘍 112  
—震盪 83, 85  
— —の管理法 86  
— —の評価 86  
— —の分類 87  
—性失神 113  
—脊髄液 83  
—損傷 83  
—貧血 112

## は

バーナー症候群 91  
バイスタンダー 2, 68  
ハイステル型 (開口器) 127  
肺塞栓 113  
バイタルサイン 93, 102  
バイトブロック 127  
ハイドロコロイド製材 29  
ハイドロジェル製材 29  
排膿 45  
背部叩打法 78  
ハイポエタノール 33  
バキュームイモビライザー  
130  
剥離骨折 56  
破傷風 45  
—菌 31  
ハゼノキ 44  
破綻性出血 25

発汗 101  
バックストラップキャリー  
60, 65  
バックボード 62, 66, 129, 137  
バッグマスク 128  
発熱 111  
パニック 95  
ハブ 45  
ハムストリングス 36  
パルスオキシメータ 130  
瘢痕組織 27  
反射性失神 113  
搬送 (経) 路 122, 132, 142  
絆創膏 47  
反跳痛 115  
バンデージ 14, 53  
ハンモックキャリー 61

## ひ

皮下血腫 83  
光過敏物質 39  
ビギーバックキャリー 60  
膝固定具 57  
皮膚 12, 24  
腓腹筋 35  
皮膚血管拡張 101  
皮膚障害 16  
皮膚損傷 24  
119番 7, 121  
日焼け 39  
—止めクリーム 40  
ヒューマンクラッチ 60  
病院 132  
評価手順 9  
表在性凍傷 41  
氷嚢 14  
表皮消毒被覆スプレー 31  
表皮剥離 47

## ふ

ファーストエイダー 4  
ファイヤーマンキャリー 60,  
65  
フィルター付きシールド 127  
フェイスシールド 74  
負荷検査 11  
吹き込口付きマスク 127  
腹臥位 5  
副子 52, 55  
腹痛 114  
腹部突き上げ法 78  
腹膜炎 115  
腹膜刺激症状 114  
部分沿面放電 48  
ブヨ 46

フローチャート 9, 120, 121

へ

ペーパーバッグ再呼吸法 107  
ヘッドキャリー 63  
ヘモグロビン (Hb) 50  
胼胝 144

ほ

防具, 用具の取り扱い 133  
縫合テープ 31  
放射 104  
包帯 53  
——法 53  
保温 110  
——用品 130  
保湿パッド 29  
保湿被覆 27  
——材 28  
発赤 12  
ポリウレタン製材 28  
ポリウレタン製テープ 28  
ポリウレタンフィルム 28  
ポンプ機能 69

ま

マスク 74  
マッサージ 35  
末梢血管抵抗 108  
末梢性めまい 112  
マムシ 44

み

ミオグロビン 102  
脈拍触知不能 108

む

無脈性心室頻拍 (無脈性 VT) 68  
無脈性電気活動 (PEA) 78

め

メディカルサポーター制度 139  
メディカルステーション 135  
めまい 112

も

毛細血管性出血 25  
モニタリング機器 129

や

役割分担 119, 132  
やけど 37  
ヤマウルシ 44  
ヤマカガシ 45  
ヤマハゼ 44  
ヤマヒル 46

ゆ

融解 41  
——熱 14  
雪目 43  
指-鼻試験 87

よ

腰椎圧迫骨折 97

ら

雷撃傷 48

ライトスプリント 130  
ライム病 46  
ラグビー 137  
落雷 48

り

リアキャリー 65  
リーダーの心構え 92  
陸上競技 133  
リケッチア 46  
リスク管理 32

れ

冷汗 108  
冷却 13, 35, 102  
——時間 16  
——用品 130  
冷湿布 16  
レイノー現象 18  
レスキューチューブ 65  
レスキューボード 66  
裂創 24  
連絡 7  
——手順 121

ろ

ローゼルケーニツヒ型 (開口器) 127  
ログロール 53  
ロンベルグ試験 87

わ

若木骨折 55